

資料 9. ごみ減量・リサイクルに関する事業所アンケート結果

1. 調査概要

1.1 調査目的

市内事業所を対象として、ごみの減量・リサイクルに関する意識や個々の取組み状況について調査を行い、課題抽出や現行施策の評価、新たな施策等を検討するための基礎資料とする。

1.2 調査内容

項目	内容
実施方法	郵送法
抽出方法	【許可業者契約事業所】 市が把握している許可業者契約事業所リストから、許可業者別契約事業所数の比率に応じて無作為抽出（抽出数が 0 の場合は、比率の大きい許可業者と調整） 【未契約事業所】 N T T タウンページデータから、N T T による基本 64 分類の比率に応じて無作為抽出
サンプル数	2,000 事業所（うち許可業者契約事業所：600、未契約事業所：1,400）
実施期間	平成 26 年 11 月 26 日～12 月 15 日（回収は平成 27 年 1 月 16 日受取分まで）

1.3 回収結果

調査対象	対象事業所数	回収数	回収率
事業所※	2,000 者	688 者	34.4%
許可業者契約事業所	600 者	231 者	38.5%
未契約事業所	1,400 者	457 者	32.6%

※ 66 件が宛先不明等で返送

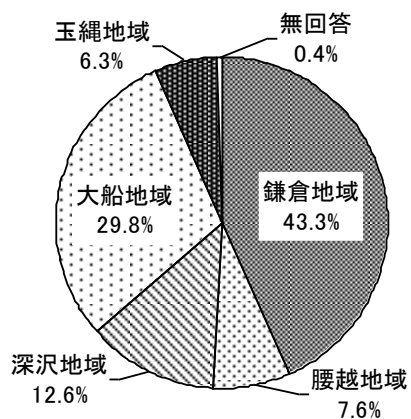
1.4 集計方法

回答割合は小数点以下第二位を四捨五入した値で表示しているため、内訳と合計が一致しないことがある。また、複数回答の設問における回答件数の合計は、n（サンプル数）と一致しない。

2. 調査結果

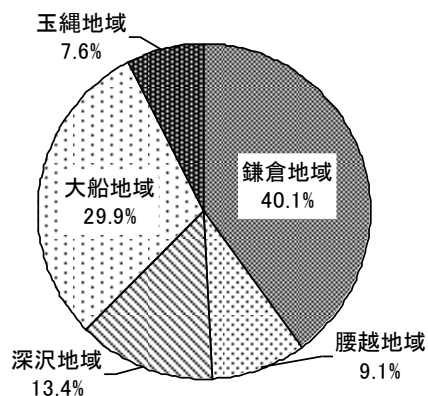
2.1 回答事業所の属性

(1) 所在地域

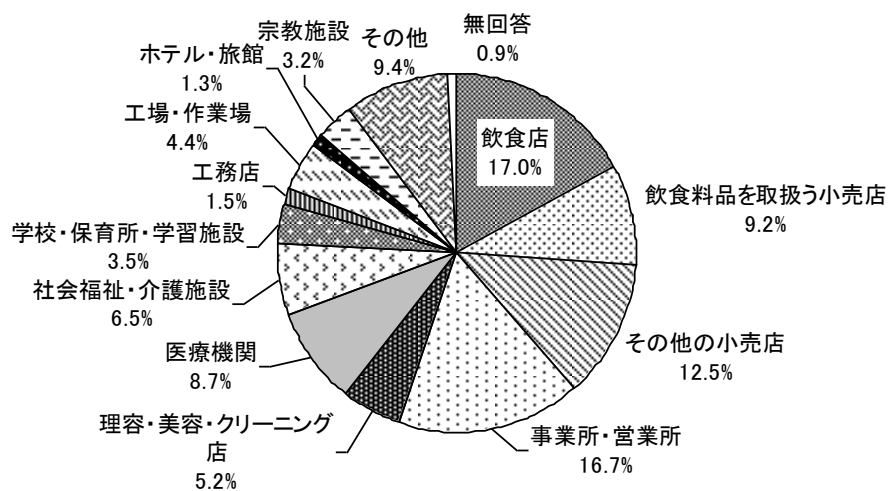


【参考】鎌倉市地域別事業所数

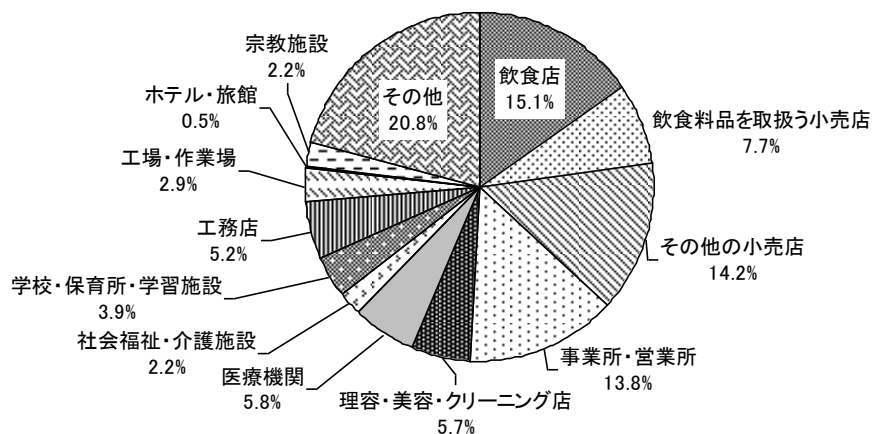
(平成 24 年経済センサス活動調査より)



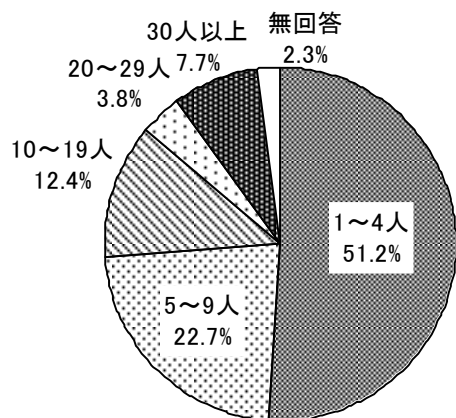
(2) 事業形態



【参考】鎌倉市地域別事業所数 (平成 24 年経済センサス活動調査から作成)

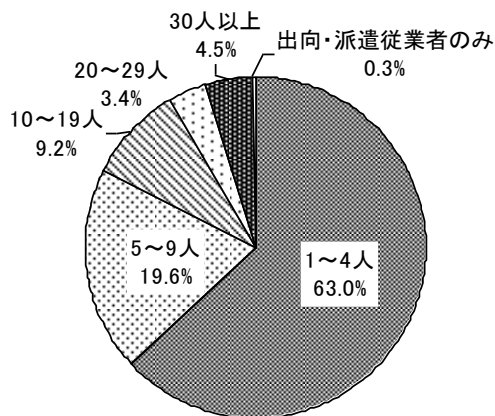


(3) 従業員数

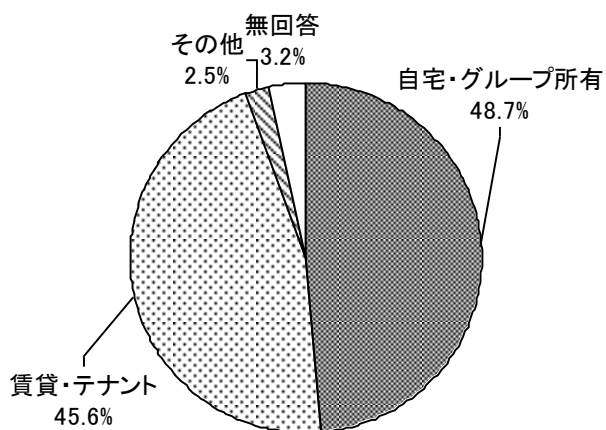


【参考】鎌倉市地域別事業所数

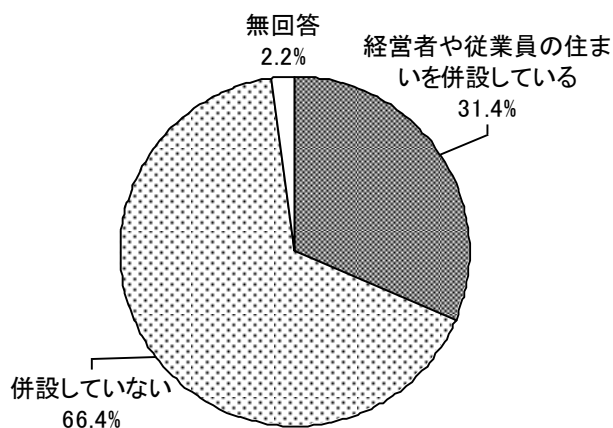
(平成 24 年経済センサス活動調査より)



(4) 事業所の所有形態



(5) 住宅併設



2.2 ごみの処理方法

問1 事業活動で発生しているごみや資源物を、どのように処理していますか。(〇は1つ)

「廃棄物収集運搬業者と契約してごみを処理している」が 61.5%と最も高く、次いで「家庭ごみと一緒にクリーンステーションに出している」が 22.7%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	廃棄物収集運搬業者と契約してごみを処理している	423	61.5%
2	家庭のごみと一緒にクリーンステーション(ごみ置き場)に出している	156	22.7%
3	自ら処理施設に持ち込んでいる	31	4.5%
4	本店(本社)が一括して管理しているので分からない	10	1.5%
5	建物の管理会社に任せているので分からない	29	4.2%
6	その他	22	3.2%
	無回答	17	2.5%
	合計(n=688)	688	100.0%

2.3 収集運搬許可業者と契約している事業所について

問1にて1. 廃棄物収集運搬業者と契約してごみを処理しているとお答えの方にお聞きします。

問2 契約の料金体系を教えてください。（○は1つ）

「定額制」が38.1%と最も高く、次いで「袋制」が30.0%、「重量制」が23.6%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	定額制・・・一定期間で決まった額を支払う	161	38.1%
2	重量制・・・出したごみの重さに応じた額を支払う	100	23.6%
3	袋制・・・出したごみ袋の数に応じた額を支払う	127	30.0%
4	その他	12	2.8%
	無回答	23	5.4%
	合計(n=423)	423	100.0%

問3 契約している廃棄物収集運搬業者から、分別について説明を受けたことはありますか。（○はいくつでも）

「分別について事前に説明を受けている」が60.8%と最も高く、次いで「分別表を配布されている」が38.8%となっている。また、「特に説明、指導を受けたことはない」は12.5%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	分別について事前に説明を受けている	257	60.8%
2	分別表を配布されている	164	38.8%
3	回収時に口頭で説明、指導がある	63	14.9%
4	特に説明、指導を受けたことはない	53	12.5%
5	分別が十分でない場合、再度分別を求めるメモ等がついている	32	7.6%
6	市に問い合わせるように言われている	1	0.2%
7	その他	14	3.3%
	無回答	14	3.3%
	合計(n=423)	598	

問4 廃棄物収集運搬業者を選ぶ際、どのような基準で選びますか。（○は2つまで）

「地域での従来の付き合いによる」が39.0%と最も高く、次いで「収集価格が他社よりも安い」が21.0%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	地域での従来の付き合いによる	165	39.0%
2	収集価格が他社よりも安い	89	21.0%
3	分別方法やリサイクル先が明確で、処理について信頼	70	16.5%
4	社員の対応が丁寧である	69	16.3%
5	本店(本社)が決めているため、分からない	58	13.7%
6	細かい分別が不要である	22	5.2%
7	その他	46	10.9%
	無回答	28	6.6%
	合計(n=423)	547	

問5 市が優良な廃棄物収集運搬業者※を認定した場合、今後そういった事業者を選びますか。（○は1つ）※優良な廃棄物収集運搬業者の例：ごみの減量・リサイクルに積極的な業者

「なるべく認定された業者から選びたい」が61.7%と最も高い。

No.	項目	件数	割合
1	なるべく認定された業者から選びたい	261	61.7%
2	特に検討しない	118	27.9%
	無回答	44	10.4%
	合計(n=423)	423	100.0%

2.4 クリーンステーションに排出している事業所について

問1にて2. 家庭のごみと一緒にクリーンステーション（ごみ置き場）に出しているとお答えの方に
お聞きします。

問6 事業系ごみは地域のクリーンステーション（ごみ置き場）に出してはいけないことになっていま
すが、このことを知っていましたか。（○は1つ）

事業系ごみをクリーンステーションに出している事業所のうち、出してはいけないことを「知って
いた」が67.3%、「知らなかった」が25.6%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	知っていた	105	67.3%
2	知らなかった	40	25.6%
	無回答	11	7.1%
	合計(n=156)	156	100.0%

問7 問6で1. 知っていたと答えた方にお聞きします。現在、クリーンステーションへ出している理
由を教えてください。（○はいくつでも）

クリーンステーションへ出す理由は「事業系ごみとしてまとめるほど量が多くない」が87.6%と最
も高い。

No.	項目	件数	割合
1	事業系ごみとしてまとめるほど量が多くない	92	87.6%
2	家庭から出るごみと分けることが難しい	20	19.0%
3	少量のため、許可業者に収集を断られた	5	4.8%
4	その他	26	24.8%
	無回答	3	2.9%
	合計(n=105)	146	

問8 少量の事業系ごみについて、市への要望があればお答えください。（○は1つ）

「有料で良いので事業用の指定袋を作り、クリーンステーションへ出せるようにしてほしい」が
48.1%と最も高い。

No.	項目	件数	割合
1	有料で良いので事業用の指定袋を作り、クリーンステーションへ出せるようにしてほしい	75	48.1%
2	事業系ごみはクリーンステーションに出してはいけないことを、もっと知らせてほしい	10	6.4%
3	その他	25	16.0%
	無回答	46	29.5%
	合計(n=156)	156	100.0%

2.5 ごみの排出状況

問9 あなたの事業所では、どの品目を分別していますか。項目ごとにあてはまる番号に○をつけてください。

「燃やすごみとして出している」と回答した品目として、紙類の「雑がみ」28.9%、「OA用紙」21.1%、「紙パック」18.5%、「機密文書」14.8%が高くなっている。

また、「布類」14.8%、「プラスチック類（軟らかいもの）」12.5%、「プラスチック類（硬いもの）」8.9%、「発泡スチロール」7.4%となっている。

No.	項目	合計 (n=688)	分別している	燃やすごみとして出している	発生しない	無回答
1	生ごみ(燃やすごみと分けてリサイクルしている)	688 100.0%	210 30.5%	243 35.3%	156 22.7%	79 11.5%
2	紙パック	688 100.0%	263 38.2%	127 18.5%	198 28.8%	100 14.5%
3	新聞、雑誌	688 100.0%	425 61.8%	46 6.7%	132 19.2%	85 12.4%
4	段ボール	688 100.0%	575 83.6%	16 2.3%	41 6.0%	56 8.1%
5	OA用紙(コピー用紙など)	688 100.0%	371 53.9%	145 21.1%	76 11.0%	96 14.0%
6	雑がみ(ボール紙※、封筒、ふせんなど)	688 100.0%	377 54.8%	199 28.9%	28 4.1%	84 12.2%
7	機密文書	688 100.0%	303 44.0%	102 14.8%	173 25.1%	110 16.0%
8	布類	688 100.0%	170 24.7%	102 14.8%	308 44.8%	108 15.7%
9	植木剪定材	688 100.0%	196 28.5%	40 5.8%	347 50.4%	105 15.3%
10	プラスチック類(袋などフィルム状で軟らかいもの)	688 100.0%	479 69.6%	86 12.5%	45 6.5%	78 11.3%
11	プラスチック類(バケツなど硬いもの)	688 100.0%	383 55.7%	61 8.9%	152 22.1%	92 13.4%
12	発泡スチロール	688 100.0%	393 57.1%	51 7.4%	157 22.8%	87 12.6%
13	カン	688 100.0%	518 75.3%	3 0.4%	110 16.0%	57 8.3%
14	ビン	688 100.0%	510 74.1%	3 0.4%	117 17.0%	58 8.4%
15	ペットボトル	688 100.0%	507 73.7%	12 1.7%	104 15.1%	65 9.4%
16	金属類(金属製品、小型家電など)	688 100.0%	444 64.5%	3 0.4%	151 21.9%	90 13.1%
17	その他	688 100.0%	38 5.5%	5 0.7%	47 6.8%	598 86.9%

※ボール紙とは、ティッシュの箱などに使用される灰色地の厚紙を示します。

問10 あなたの事業所から出る燃やすごみの量と、その中の生ごみの割合を教えてください。

(1) 一日あたりの燃やすごみの量

一日あたりの燃やすごみの量は、「1kg 以上 25kg 未満」が 30.8%と最も高く、次いで「1kg 未満」が 26.7%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	1kg未満	184	26.7%
2	1kg以上25kg未満	212	30.8%
3	25kg以上50kg未満	11	1.6%
4	50kg以上75kg未満	4	0.6%
5	75kg以上100kg未満	3	0.4%
6	100kg以上	17	2.5%
	不明・無回答	257	37.4%
	合計(n=688)	688	100.0%

(2) 一日あたりの燃やすごみのうち生ごみの割合

記入された数値を分類したところ、「10%未満」が 35.3%と最も高く、次いで「10%以上 25%未満」が 9.3%、「50%以上 75%未満」が 9.2%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	10%未満	243	35.3%
2	10%以上25%未満	64	9.3%
3	25%以上50%未満	36	5.2%
4	50%以上75%未満	63	9.2%
5	75%以上100%	46	6.7%
	不明・無回答	236	34.3%
	合計(n=688)	688	100.0%

(3) 一日あたりの生ごみの量（換算）

(1) 「一日あたりの燃やすごみの量」、(2) 「一日あたりの燃やすごみのうち生ごみの割合」から換算した値を分類したところ、「0.5kg 未満」が 43.9%と最も高い。

No.	項目	件数	割合
1	0.5kg未満	302	43.9%
2	0.5kg以上1kg未満	31	4.5%
3	1kg以上25kg未満	94	13.7%
4	25kg以上50kg未満	1	0.1%
5	50kg以上75kg未満	0	0.0%
6	75kg以上	4	0.6%
	不明・無回答	256	37.2%
	合計(n=688)	688	100.0%

2.6 事業系ごみ排出・処理ルールの認知度

問11 鎌倉市における以下のごみの排出・処理のルールについて、ご存じですか。項目ごとにあてはまる番号に○をつけてください。

「知っていた」については、「事業所から出るごみには、一般廃棄物と産業廃棄物がある」が 80.2%、「事業所から出るプラスチック類は産業廃棄物であり、燃やすごみとして出してはいけない」が 72.4%、「資源化可能な紙類は資源物であり、燃やすごみとして出してはいけない」が 75.3%となっている。

「知らなかった」については、「市の焼却施設での燃やすごみの処理手数料は 21 円/kg である」が 71.7%、「燃やすごみにプラスチック類や資源化できる紙類が混入しているときは、ごみを出した事業者に対して、焼却施設での受入拒否など行う場合がある」が 41.6%と、他の項目に比べて高くなっている。

No.	項目	合計 (n=688)	知っていた	知らなかった	無回答
1	事業所から出るごみには、一般廃棄物と産業廃棄物がある。	688 100.0%	552 80.2%	86 12.5%	50 7.3%
2	市の焼却施設での燃やすごみの処理手数料は21円/kgである。	688 100.0%	134 19.5%	493 71.7%	61 8.9%
3	事業所から出るプラスチック類(食品容器、包装プラスチック等)は産業廃棄物であり、燃やすごみとして出してはいけない。	688 100.0%	498 72.4%	136 19.8%	54 7.8%
4	資源化可能な紙類(ボール紙※、封筒、ふせんなど雑がみ)は資源物であり、燃やすごみとして出してはいけない。	688 100.0%	518 75.3%	121 17.6%	49 7.1%
5	燃やすごみにプラスチック類や資源化できる紙類が混入しているときは、ごみを出した事業者に対して、焼却施設での受入拒否などを行う場合がある。	688 100.0%	335 48.7%	286 41.6%	67 9.7%

※ボール紙とは、ティッシュの箱などに使用される灰色地の厚紙を示します。

2.7 ごみ減量・リサイクルの取組み状況

問12 あなたの事業所のごみ減量・リサイクルに関する取組みについてお聞きます。(○は1つ)

「ある程度、取組みを進めている」が 49.0%と最も高く、次いで「積極的に取組みを進めている」が 26.3%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	積極的に取組みを進めている	181	26.3%
2	ある程度、取組みを進めている	337	49.0%
3	ほとんど取り組んでいない	49	7.1%
4	取り組んでいない	37	5.4%
	無回答	84	12.2%
	合計(n=688)	688	100.0%

2.8 ごみ減量・リサイクルの取組み内容

※問12にて「4. 取り組んでいない」以外の回答者対象

問13 あなたの事業所で、ごみ減量・リサイクルに取り組む主な理由は何ですか。（○は2つまで）

「環境に良いため」が54.6%と最も高く、次いで「社会的責任を果たすため」が42.3%、「ごみを減らすことでコスト削減につながるため」が41.1%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	環境に良いため	355	54.6%
2	社会的責任を果たすため	276	42.3%
3	ごみを減らすことでコスト削減につながるため	267	41.1%
4	法律で定められているため	46	7.1%
5	会社全体で規定されているため	29	4.5%
6	宣伝やイメージアップのため	4	0.6%
7	その他	13	1.9%
	無回答	114	16.6%
	合計(n=651)	1104	

問14 あなたの事業所では、ごみ減量・リサイクルに関してどのような取組みを行っていますか。（○はいくつでも）

「生ごみの排出時は、水切りに努めている」が21.5%と最も高く、次いで「なるべく無駄が出ないよう食材や在庫の管理を徹底している」が14.7%、「簡易包装を実施している」が9.3%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	生ごみの排出時は、水切りに努めている	283	21.5%
2	なるべく無駄が出ないよう食材や在庫の管理を徹底している	194	14.7%
3	簡易包装を実施している	122	9.3%
4	資源物の回収ボックスを設置している	102	7.8%
5	調理くずが少なくなるように工夫している	87	6.6%
6	生ごみの資源化に積極的に取り組んでいる	85	6.5%
7	食べ残しが出にくいメニューの設定など、食べ残しが減るような工夫をしている	84	6.4%
8	繰り返し使用できる製品・再生品や、グリーン購入対象品を使用又は生産、販売している	68	5.2%
9	製品の修理の実施と、実施している情報の積極的なPRに努めている	19	1.4%
10	環境マネジメントシステムを構築している	18	1.4%
11	事業所の3Rへの取組み活動を積極的にPRしている	11	0.8%
12	市民(消費者)との意見交換や話し合いに取り組んでいる	2	0.2%
13	特に取り組んでいない	73	5.5%
14	その他	43	3.3%
	無回答	125	9.5%
	合計(n=651)	1316	

2.9 ごみ減量・リサイクル推進における問題点、取り組む意向など

問15 あなたの事業所で、ごみ減量・リサイクルを進めていくうえでの主な問題点は何ですか。（〇はいくつでも）

「特に問題ない」を除くと、「素材が分からないものがあり、分別できない」と「分別の数のごみ箱を置くスペースがない」が 11.0%、「分別・リサイクルに手間がかかる」が 10.1%と最も高くなっている。

No.	項目	件数	割合
1	素材が分からないものがあり、分別できない	115	11.0%
2	分別の数のごみ箱を置くスペースがない	115	11.0%
3	分別・リサイクルに手間がかかる	106	10.1%
4	少量しかごみが出ないため、収集コストの単価が高くなる	89	8.5%
5	分別のごみ箱を設置していても、不特定多数の客が分別せずにごみを捨てる	50	4.8%
6	どの業者に依頼すればリサイクルができるのか分からない	47	4.5%
7	分別や排出方法のルール自体をよく知らない	31	3.0%
8	リサイクルすることでコストが高くなる品目がある	31	3.0%
9	従業員やテナントに分別の徹底やごみ減量の意識を浸透させることが難しい	31	3.0%
10	本店（本社）に決定権があるため、リサイクルに関しても本店（本社）の指示に従うしかない	25	2.4%
11	捨てるのがもったいない物が出ても、売却したり、譲り渡す方法が分からない	22	2.1%
12	ごみ処理について質問や相談する市の窓口が分からない	8	0.8%
13	ごみの減量やリサイクルを行う意義が分からない	0	0.0%
14	特に問題ない	225	21.5%
15	その他	26	2.5%
	無回答	126	12.0%
	合計（n=688）	1047	

問16 生ごみの減量やリサイクル（生ごみ処理機を利用したい肥化など）に取り組んでみたいと思いますか。（〇は1つ）

「生ごみは発生しない」を除くと、「手間がかからなければ取り組みたい」が 15.7%と最も高くなっている。

No.	項目	件数	割合
1	多少費用や手間が掛かっても取り組みたい	18	2.6%
2	市の補助金があれば検討したい	57	8.3%
3	手間がかからなければ取り組みたい	108	15.7%
4	詳しい情報を知らないためわからない	67	9.7%
5	生ごみは発生しない	223	32.4%
6	取り組む意向はない	65	9.4%
7	既に取り組んでいる	36	5.2%
	無回答	114	16.6%
	合計（n=688）	688	100.0%

問17 ごみ減量・リサイクルに関する情報をどのようにして入手していますか。（〇はいくつでも）

「広報かまくら」が29.5%と最も多く、次いで「市のパンフレット、チラシ」が14.2%、「収集運搬業者からのお知らせ」が12.7%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	広報かまくら	357	29.5%
2	市のパンフレット、チラシ	172	14.2%
3	収集運搬業者からのお知らせ	154	12.7%
4	鎌倉ごみ減量通信	115	9.5%
5	市役所や処理施設(クリーンセンター)への問い合わせ	61	5.0%
6	市のホームページ	48	4.0%
7	インターネット	46	3.8%
8	同業者や加盟団体からのお知らせ	36	3.0%
9	新聞、雑誌	28	2.3%
10	テレビ、ラジオ	18	1.5%
11	特になし	88	7.3%
12	その他	20	1.7%
	無回答	66	5.5%
	合計(n=688)	1209	

問18 ごみ減量・リサイクルを促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「ごみ減量・リサイクルの具体的方法がわかるマニュアルの提供」が21.7%と最も多く、次いで「ごみ減量・リサイクル手法の紹介」が16.9%、「事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導」が13.5%、「収集運搬業者、リサイクル業者に関する情報提供」が11.6%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	ごみ減量・リサイクルの具体的方法がわかるマニュアルの提供	307	21.7%
2	ごみ減量・リサイクル手法の紹介(事例紹介)	240	16.9%
3	事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導	191	13.5%
4	収集運搬業者、リサイクル業者に関する情報提供	164	11.6%
5	生ごみや剪定枝の堆肥化等、リサイクル事業の拡充	79	5.6%
6	ごみ処理に関する相談窓口や体制の充実	68	4.8%
7	優良事業所の紹介や表彰	61	4.3%
8	法令や条例等の規制に関する情報提供	51	3.6%
9	収集運搬業者への指導強化	51	3.6%
10	社内研修などによる従業員の意識向上	39	2.8%
11	事業者を対象とした廃棄物の講習会の開催	25	1.8%
12	その他	36	2.5%
	無回答	105	7.4%
	合計(n=688)	1417	

問19 あなたの事業所で実施されている、ごみ減量・リサイクルについて特に効果的と思われる取組みや、ごみに関して困っていること、ご意見等があればご記入ください。

意見者数は 127 名で、実施している取組み内容については、生ごみに関する取組みのほか紙類に関するもの、在庫管理に関するものなど様々であった。

No.	内容	意見数
1.	実施している取組み内容について	35
	生ごみの減量に関する取組み	8
	その他の減量、資源化に関する取組み	27
2.	市への要望	18
4.	分別方法等への意見	16
5.	少量ごみへの対応	9
8.	ごみを捨てるまでの保管場所がない	8
9.	収集運搬許可業者への要望、意見	6
7.	ほとんどごみは出ない	11
2.	観光客や市民からごみを持ち込まれる	20
6.	地域や市民のマナー	10
10.	その他	28